

学校で、家庭で、地域で取り組む!

子どもを

災害

事故

犯罪

から守る

「ぼうさい探検隊」

事前学習の手引き



# はじめに

「ぼうさい探検隊」は、一般社団法人日本損害保険協会が推進している、実践的安全教育プログラムで、子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、マップにまとめて発表するものです。

昨今、全国各地で大きな被害をもたらす台風や地震などの自然災害が数多く発生しています。また、子どもが犯罪や交通事故に巻き込まれる事件や事故も増加しています。こうした地域の安全や安心が脅かされる社会情勢の変化に対応するには、これまで以上に、子どもたち自身で危険を予知するなど状況を的確に判断し、身の安全を守る行動を身につける安全教育が必要不可欠です。

そこで当協会では、子どもたちの気づきを重視した「ぼうさい探検隊」のプログラムに加え、防災・防犯・交通安全に関する知識を事前に身につけることで、一層の教育効果を発揮できると考え、まち歩きの前学習の手引きとして、本書を作成しました。

本書はイラストや写真を多く用いて、子どもたちが防災・防犯・交通安全のテーマごとにイメージしやすい内容としたほか、実際のマップを掲載してマップづくりの手順やポイントを解説するなど、指導者用手引きとしても活用いただけるように工夫しています。

本書が、学校、家庭、地域などあらゆる場面で活用され、「ぼうさい探検隊」を実施することで、皆さまの安全・安心の一助になることを願っています。

本書の作成にあたりまして、学校安全教育研究所事務局長 矢崎良明氏(元都内公立小学校長)監修のもと、「麹町小ワーク・わく・クラブ」「足立区立西新井小学校」「鳥羽市安楽島子ども会」「北川ブラザーズ」の皆さまにもご協力いただきました。

## 本書のねらい

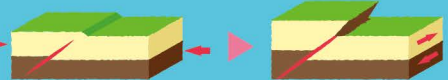
本書は、犯罪や事故、あるいは災害などから子どもを守るために作成した手引きです。イラスト中心の子ども向けのページとおとな向けの解説ページから構成されています。地域で災害や犯罪、事故が発生したときにどのような行動をとるべきかを考えるページや「地域安全安心マップ」づくりを実践するページなどを通して、子どもの危険・安全に対する意識を高めていくことを目的としています。

# 目次

## 本書の使い方・・・・・・・・・・ 4

### 防災編

- 地震がおきたとき、まちの中は  
どのようになるか考えてみよう・・・・・・・・・・ 6
- 地震がおきるとどうなるだろう・・・・・・・・・・ 8
- どのようにして地震がおきるのだろうか・・・・・・・・・・ 9
- 家の中や学校にいるとき危険なことは・・・・・・・・・・ 10
- まちに出て、地震がおきたとき  
危険なところはないか調べに行こう・・・・・・・・・・ 12
- まちの中の危険なところはどこかな・・・・・・・・・・ 13
- 大雨や強風による被害・・・・・・・・・・ 14



### 交通安全編

- まちの中で危険なことはないかな  
(子ども向け)・・・・・・・・・・ 16
- まちの中で危険なことはないかな  
(おとな向け)・・・・・・・・・・ 18



### 防犯編

- まちの中の危険について考えてみよう・・・・・・・・・・ 20
- 身の周りの危険について考えてみよう  
～こんなときどうする?～(子ども向け)・・・・・・・・・・ 22
- 身の周りの危険について考えてみよう  
～こんなときどうする?～(おとな向け)・・・・・・・・・・ 23
- 家庭で話し合おう・・・・・・・・・・ 24
- 家庭の約束・・・・・・・・・・ 25



## ぼうさい探検隊でつくる 地域安全安心マップに挑戦!・・・・ 26



# 本書の使い方

## 本書の活用方法



防災・防犯・交通安全  
について考える



本書の活用



本書は、大人と子どもたちが  
防災・防犯・交通安全について  
一緒に考えていただくための  
手引きです。

## 本書の概要

### 🌞 防災編

#### 【学習の目的】

●地震や風水害などの自然災害における危険について理解し、適切な備えと危険を回避する能力を習得します。さらに、災害を自分ごととして捉え、自分の命は自分で守ることの大切さを習得します。

#### 【学習内容の概要】

- 地震をはじめ、自然災害がもたらす様々な被害をイラストや写真からイメージし、事前の備えや有事の際の行動について学びます。
- 各種ハザードマップなど災害に関する情報を活用し、自分の住んでいる地域の危険などについて学びます。

### 🚗 交通安全編

#### 【学習の目的】

- あらゆる場面における危険な行動や安全な通行方法について理解するとともに、イラストに描かれた場面をイメージしながら危険を予測し、事故を未然に回避する力を身につけます。
- 交通ルールを遵守した安全な歩行、自転車の利用に努め、交通事故のない安全な交通社会づくりの重要性を理解します。

#### 【学習内容の概要】

- イラストに描かれた場面を見て、なぜ危ないのか、どんな行動をとると身の安全を確保できるのかを考えます。
- 主要な道路標識について理解し、交通事故を防止するための基本的な交通ルールを学びます。

## 本書の構成

本書は、イラスト中心の子ども向けページとおとな向けの解説ページから構成されています。子どものページのコピーを一人ひとりの子どもに渡して、学習を進めていきます。



### 子どものページ

子ども向け

家に帰って玄関を開けるときはどうしますか。



**A**  
早く帰りたいから  
急いで開ける。



**B**  
不審者がいないか  
周囲に気を配りながら  
開ける。

人通りの少ない道を通るときはどうしますか。



**A**  
歩き慣れている道  
だから安心して歩く。



**B**  
不審者や後をつけて  
いる人がいないか  
周囲に気を配る。

出かけて遅れそうとき「送ってあげるよ」と言われたらどうしますか。



**A**  
車には乗らないよ。



**B**  
親切な人だな。  
車に乗せてもらおうかな。

子ども向けにイラストや写真を中心に作成しています。子どもたちに危険についてや危険な場所などを考えてもらいます。また、地域安全安心マップづくりなどの体験を実践するための資料となります。



### 大人のページ

おとな向け

様々な場面で、犯罪にあわないようにするための手立てを学びます。

エレベーターに乗るときはどうしますか。 エレベーターは、扉が閉まるまで密室になり、危険な空間になります。

子どもたちへの説明

- 後ろから抱きつかれたりされないように、非常ベル、インターフォン、各階のボタンを押せる位置で壁に背を向けて立つようにする。
- 知らない人と二人っきりになってしまいそうなきときは、乗らないようにする。
- 扉が閉まるまで密室になり、危険な空間になります。
- 後ろから抱きつかれたりされないように、非常ベル、インターフォン、各階のボタンを押せる位置で壁に背を向けて立つようにする。
- 知らない人と二人っきりになってしまいそうなきときは、乗らないようにする。

●奥の壁にもたれかかるように立つと、襲われやすいので注意する。

家に帰って玄関を開けるときはどうしますか。

- ドアを開けるときは不審者がいないか、周囲を見回してからカギを開けるようにする。
- 家に誰もいないときも、帰ったときは「ただいま」と大きな声で言う習慣をつける。

人通りの少ない道を通るときはどうしますか。

- 人通りの少ない道は危険。ひとりで歩くときは、歩き慣れているからと安心せず、周囲に充分気を配る。
- 一人でいるとき、なるべくひとりにならない。
- しつこく誘われても、はっきりと断り、防犯ブザーを鳴らすなどして、とにかく逃げることを優先する。

大人の方々が、子どもたちに防犯・事故防止の意識を伝えていただくために、初めての方にもわかりやすい解説を用意しています。

## 様々なツール

体験で使用する、シールやワークシートなどは、損保協会のホームページからPDFファイルをダウンロードできます。

[[https://www.sonpo.or.jp/report/publish/bousai/bou\\_0009.html](https://www.sonpo.or.jp/report/publish/bousai/bou_0009.html)]



## 3 防犯編

### 【学習の目的】

- 様々な場面で、子どもたちが犯罪にあわないようにするための手立てを考え、防犯の意識を高めます。
- 家庭で防犯に関する話題を取り上げることで、家族全体の防犯意識を高めます。

### 【学習内容の概要】

- いろいろな場面で、身近におこる犯罪・事故を避けるための基礎的な対処方法を学びます。
- 本手引きに掲載したテーマに沿って、家族で防犯について話し合い、家庭での約束ごとを整理します。

## 「地域安全安心マップ」に挑戦！編

### 【学習の目的】

- 地域安全安心マップを作成することで、身近な地域の危険な場所や安全な場所をさがし出し、災害への備え、防犯や交通事故防止につなげていきます。
- 集団でまち探検をすることで、自分だけでは気づかない危険箇所などを発見し、参加者で共有することにより、安全意識を高めます。
- マップの内容を家庭や地域に情報発信し、地域防災力の向上につなげます。
- 危険箇所を見つけたら、行政などに改善要望や提言を行い、安心・安全な地域社会への参画意識を高めます。

### 【学習内容の概要】

- まち探検をする際の着眼点、マップの作り方などを参考にし、実際にマップを作成します。
- グループごとに気づきや意見などを発表し、情報発信する大切さを学びます。
- 危険箇所の改善を要望・提言することで、地域への関心が安心・安全につながることを学びます。



子ども向け

# 地震がおきたとき、まちの中は どのようになるか考えてみよう



あか ぶぶん じしん げんしょう  
赤い部分は地震やそのゆれによっておこる現象

## ちようしゅうきじしんどう 長周期地震動

じしん はっせい ばしょ とお  
地震が発生した場所から遠くても、  
ゆっくりと長くゆれる現象です。  
とくにこうそう おお はし  
とくに高層ビルや大きな橋などをゆらします。

## じわ 地割れ

よわ じばん じばん うご じしん  
弱い地盤などで、地盤の動きや地震のゆれに  
よって、じめん さ はい げんしょう  
よって、地面が裂けたりひびが入る現象です。

でんしゃ  
だっせん  
脱線する

どうろ  
こわれる  
道路が  
こわれる

## えきじょうかげんしょう 液状化現象

じめん えきたいじょう げんしょう  
地面が液体状になる現象のことです。  
マンホールが浮き上がったり、  
でんちゆう かたむ  
電柱が傾くことがあります。

いえ かわら  
家の瓦やビルの  
ガラスなどが  
お落ちてくる

かじ  
おこる  
火事が  
おこる

地震のゆれによっておこることや、地震による被害について見てみましょう。

皆さんの住んでいるところは、どんなことがおこりやすいか考えてみましょう。



青い部分は地震やそのゆれによっておこる被害

### 山くずれ

地震によって地盤がゆるみ、雨や雪どけ水によって山がくずれる現象です。地震のゆれそのものによって山がくずれることもあります。

### 津波

海底でおきた地震によって海の水がいきにもり上がって押し寄せる現象です。

たてもの  
建物が  
つぶれる

ブロック塀が  
倒れる

でんちゆう  
電柱が  
傾く



# 地震がおきるとどうなるだろう

じしん さまざま ひがい はっせい ばしょ ひがい  
地震がおきると様々な被害が発生します。場所によって被害がちがいます。

つぎ しゃしん おも ひがい ようす みな がっこう す ひがい よそう  
次の写真は、主な被害の様子です。皆さんの学校や住んでいるところでは、どのような被害が予想される  
かんが ひがい かんが  
か考えてみましょう。また被害にあわないためにはどうすればよいか考えてみましょう。

1 たてもの たお  
建物が倒れたりします



どうすればよいでしょうか

2 つなみ  
津波におそわれます



どうすればよいでしょうか

3 かさい ひろ  
火災が広がります 1923年の関東大震災での火災  
写真提供: 国立科学博物館



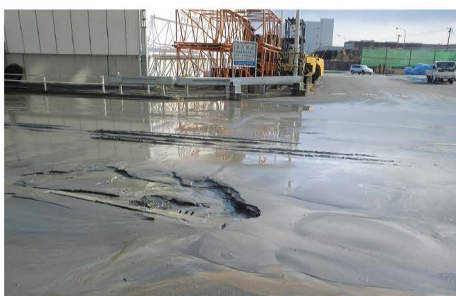
どうすればよいでしょうか

4 やま  
山くずれやがけくずれがおきます



どうすればよいでしょうか

5 じめん えきじょうか  
地面が液状化します



どうすればよいでしょうか

6 みな がっこう す  
皆さんの学校や住んでいるところでは、  
ほか ひがい よそう  
他にどんな被害が予想されますか





おとな向け

# どのようにして地震がおきるのだろうか



地震の被害にあわないための備えや行動について考えます。  
地震がおきる仕組みについて子どもたちにわかりやすく解説します。

8ページのような地震の被害を防ぐには、どのようにしたらよいか子どもたちに説明します。

## 1 建物が倒れる

古い建物内で地震がおきた場合は、ゆれがおさまったら外に出ましょう。できるだけ建物から離れ、落下物や倒壊物から身を守りましょう。

## 3 火災が広がる

火災が広がると鎮火が困難になるため、ゆれがおさまったら火を消します。電気による火災(通電火災)を防ぐために、避難所へ行く前にはブレーカーを切ります。なお、ゆれが激しい時は、まずは身の安全を確保することをポイントとして指導しましょう。

## 5 地面が液状化する

川の近くや埋め立て地などで砂が多く含まれた場所で、地震とほぼ同時におきます。市や町などのハザードマップなどで調べておきましょう。

## 2 津波におそわれる

津波注意報や、津波警報が出たら、すぐに高台に避難しましょう。高台が遠い場合は、近くの避難ビルなどの建物の高いところに避難しましょう。

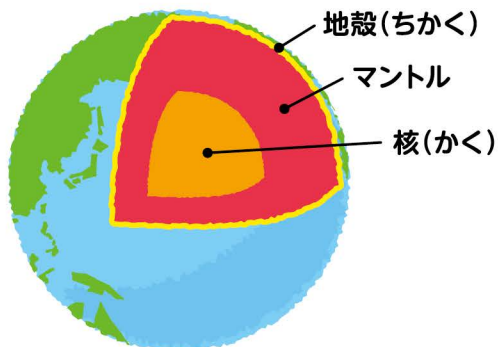
## 4 山くずれやがけくずれがおきる

山の斜面や、がけのそばに住んでいる場合は、地震がおきたら家から離れて避難所などに避難しましょう。

## 地震はどのようにしておきるのでしょうか。

### 1. プレートの動きによる海溝型地震

地球の表面には10枚ぐらいのプレート(地殻とマンツルの表面の一部)というものがあり、1年間に数mm~数cmずつ動いています。日本の近くでは、海側のプレートが陸側のプレートの下に潜り込んでいます。そのときに陸のプレートが引きずり込まれて、それがたえきれずに、元に戻ろうとするとときに大きな地震がおきます。



地球の内部とプレート

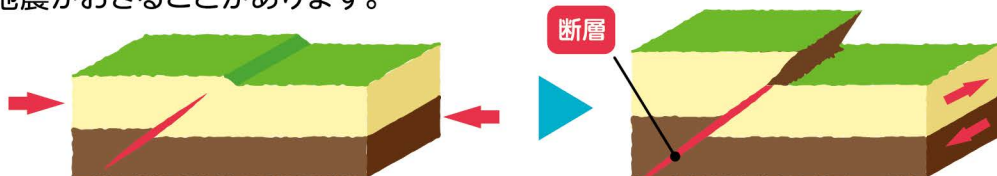


日本付近のプレート

### 2. 活断層が動く内陸型の地震

日本の内陸には多くの活断層があります。断層が押されたり、引っ張られたり、横にずれたりすると、断層が動いて大きな地震が発生します。でも、いつ、どれぐらいの大きさの地震がおきるか予測するのは大変むずかしく、突然地震がおきることがあります。

活断層で発生する地震



プレート付近の地震活断層による地震

出典:文部科学省「地震をみてみよう解説編」([https://www.jishin.go.jp/main/pamphlet/primary\\_school/primary\\_school\\_high.pdf](https://www.jishin.go.jp/main/pamphlet/primary_school/primary_school_high.pdf))を加工して作成



おとな向け



子ども向け

ぼうさいへん  
防災編

# 家の中や学校にいるとき 危険なことは

いえ なか  
家の中です。

じしん  
地震がおきたとき、<sup>うえ</sup>上から<sup>お</sup>落ちてくる物、<sup>もの</sup>横から<sup>たお</sup>倒れてくる物はどれでしょう。

<sup>お</sup>落ちてきそうな物・<sup>もの</sup>倒れてきそうな物に○をつけてみましょう。

<sup>みな</sup>皆さんは、<sup>がっこう</sup>学校にいる時間よりも<sup>いえ</sup>家や<sup>そと</sup>外で<sup>じかん</sup>過ごす時間のほうが長いことを知っていますか。

<sup>がっこう</sup>学校での<sup>ひなん</sup>避難訓練を<sup>おも</sup>思い出してください。そして<sup>かぞく</sup>家族の<sup>みな</sup>みんなと<sup>はな</sup>話し合ってください。



<sup>じしん</sup>地震がおきたら、<sup>み</sup>身を守るために<sup>まも</sup>上から<sup>うえ</sup>物が<sup>お</sup>落ちてこない場所、<sup>ばしょ</sup>横から<sup>よこ</sup>物が<sup>たお</sup>倒れてこない場所にすばやく<sup>ばしょ</sup>身を寄せましょう。移動してくる物にも<sup>いどう</sup>気をつけましょう。

○をつけた物が、<sup>もの</sup>落ちたり<sup>お</sup>倒れたりしないようにするためには、<sup>たお</sup>どのようにすればよいか<sup>かんが</sup>考えてみましょう。



いえ がっこう じしん ひがい しゃしん  
 家や学校でおきる地震の被害をイラストや写真からイメージして、  
 事前の備えやおきたときの行動を学びます。

じしん がっこう お たいお もの  
 地震がおきると学校では、落ちてきたり倒れてきたりする物があります。  
 せんせい いっしょ かんが  
 先生と一緒にさがしてみましよう。また、どうしたらよいかも考えてみましよう。



きょうしつ まど  
 教室の窓ガラスは  
 わ 割れることがあります。



しょうめいさぐ お  
 照明器具は落ちてくる  
 ばあい 場合があります。



たな たお なか もの  
 棚が倒れたり、中の物が  
 と 飛び出してくることがあります。



たいいくかん とけい  
 体育館のボードや時計、スピーカー  
 などお 落ちてくる場合があります。



たお  
 ピアノが倒れたり  
 うご 動いたりすることがあります。

出典: 文部科学省「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」

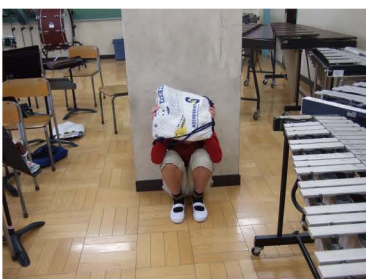
みな がっこう しゃしん お もの たお もの  
 皆さんの学校にはこれらの写真のほかに、落ちてきそうな物や倒れてきそうな物がないかさがしてみましよう。



つくえ した  
 机の下にもぐる。



かた あたま  
 固いもので頭を  
 まも ふと はしら  
 守って太い柱の  
 よ ところに寄る。



ふくろ あたま まも  
 袋で頭を守って  
 ふと はしら よ  
 太い柱のところに寄る。



あたま  
 ランドセルを頭に  
 かぶって壁に寄る。



子ども向け

# まちに出て、地震がおきたとき 危険なところはないか調べに行こう

上から落ちてきそうな物や、倒れてきそうな物を見つけよう。  
どのようにしたら安全になるかも考えてみよう。



●危険なところはどこですか

●安全にするにはどうしたらよいですか



●危険なところはどこですか

●安全にするにはどうしたらよいですか



●危険なところはどこですか

●安全にするにはどうしたらよいですか



おとな向け

子ども向け

# ぼうさいへん 防災編

## なか きげん まちの中の危険なところはどこかな

**ねらい** ちいき なか きげん ばしょ しら じょうほう かつよう まな  
地域の危険な場所を調べたり、ハザードマップなどの情報の活用を学びます。



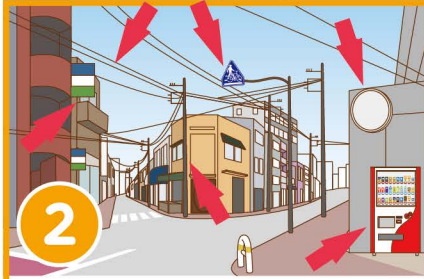
1

### きげん 危険なところ

- 左の家の外階段
- 左の家のベランダ
- 電柱
- 電線
- 左側のブロック塀

### あんぜん 安全にするには

- 家のたいしん化
- 電線の地中化
- ブロック塀をなくす



2

### きげん 危険なところ

- 自動販売機
- 道路標識
- 電柱
- 電線
- 自動販売機の上の看板
- 電柱
- 電線
- 左側のお店の看板

### あんぜん 安全にするには

- 自動販売機の転倒防止対策
- 電線の地中化
- 看板などの固定をしっかりと



3

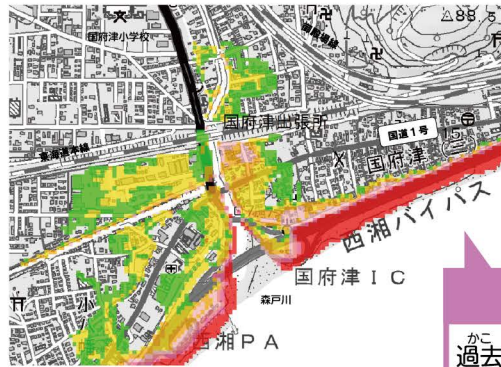
### きげん 危険なところ

- 自動販売機
- 道路標識
- 電柱
- 電線

### あんぜん 安全にするには

- 自動販売機の固定
- 電線の地中化
- ブロックでない低い塀

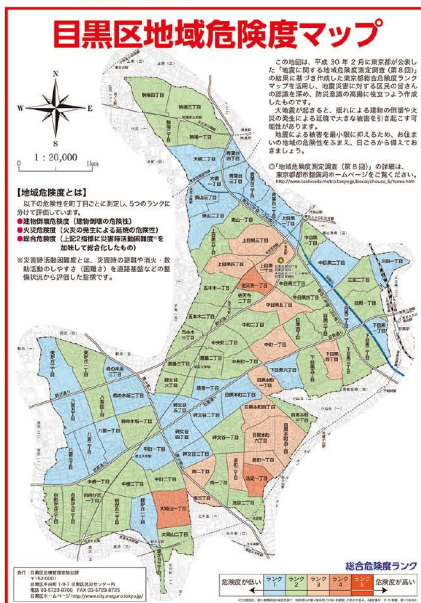
みな す し まち さいがい そうてい ぼうさい しんすい そうてい  
皆さんの住んでいる市や町などには、いろいろな災害を想定して、防災マップや浸水想定図などがあります。インターネットを使って調べたり、市や町などの防災課や危機管理課などに聞いてみましょう。



### つなみ しんすい そうてい 津波浸水想定図

過去の地震や地形から、津波がきたときに浸水が想定されている場所と浸水の高さを表しています。

出典: 小田原市公式ホームページ  
(<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/global-image/units/246866/1-20151207172051.pdf>)



### 目黒区地域危険度マップ

### ちいき きげん ど 地域危険度マップ

地震のときに建物の倒れやすい場所や火災の危険、避難場所などが書いてあります。

出典: 目黒区公式ホームページ  
(<https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/anzen/bosai/map/kikendomap.files/2018kikendo.pdf>)

### ぼうさい 防災マップ

ちか ひなんばしょ ひなんじよ ぼうさい  
近くの避難場所や避難所、防災センター、  
給水場所、警察署、消防署などが書いてあ  
ります。

出典: 大阪市ホームページ  
(<https://www.city.osaka.lg.jp/chuo/cmsfiles/contents/000023/23991/l.pdf>)



おとな向け



子ども向け

ぼうさいへん  
防災編

おおあめ

きょうふう

ひがい

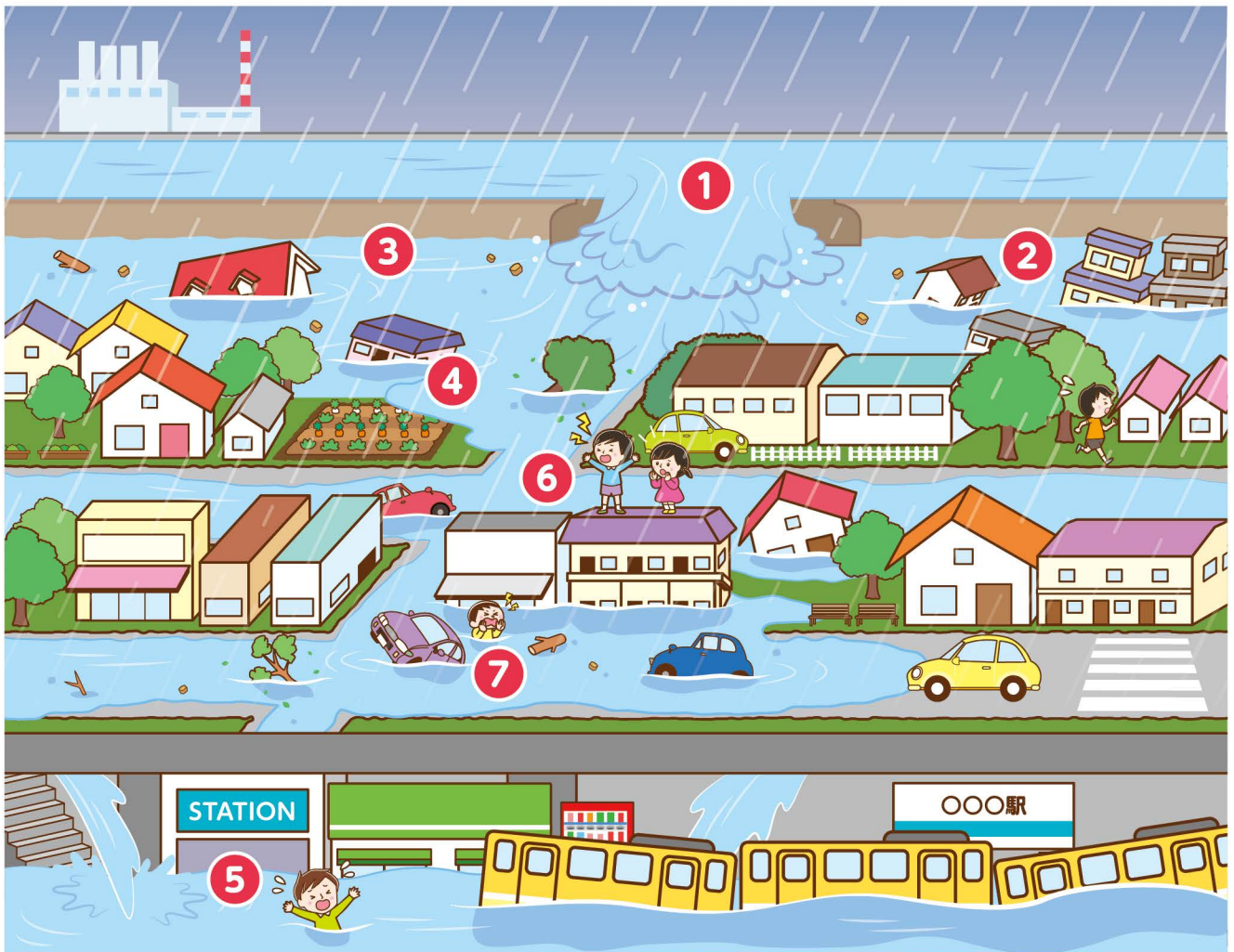
# 大雨や強風による被害

おおあめ

ひがい

## 大雨による被害

台風や集中豪雨などでは、大雨が降り、川が氾濫して洪水がおきたり、まちの中にも大量の水がたまったりします。そのためにいろいろな災害が起こります。



- ① 川の水が増し、堤防がこわれて大量の水がまちに流れ込みます。
- ② 川の近くの家は、流れ込んだ水の勢いで流されることがあります。
- ③ 道路にたくさんの水がたまり、川のようになります。
- ④ 畑の作物が水をかぶり、売ることができなくなります。
- ⑤ 地下にも水が流れ込み、地下街が水につかります。
- ⑥ 水につかった家では、屋根に登り助けを求める人も出ます。
- ⑦ 道路が水につかり、車が動けなくなります。

みなさんのまちに川が流れていたら、今までに洪水がおきたことがないか。洪水がおきたら、どのあたりまで浸水するか。市や町などの洪水ハザードマップを見てみましょう。

# きょうふう ひがい 強風による被害

たいふう つよ かぜ さまざま ひがい  
台風などの強い風によって、様々な被害が起こります。



- 1 いえ やね と  
家の屋根が飛ばされます。
- 2 かさ ある かさ と  
傘をさして歩けません。傘がこわれたり、飛んだりすることもあります。
- 3 なか き えだ お き たお  
まちの中の木の枝が折れたり、木が倒れたりします。
- 4 でんちゅう てつとう たお  
電柱や鉄塔が倒れることもあります。
- 5 かんばん と  
看板が飛んできます。
- 6 のうか  
農家のビニールハウスがこわれてしまいます。
- 7 こめ さくもつ たお  
米などの作物が倒れてしまいます。

みな いま つよ かぜ  
皆さんのまちでは、今までに強い風  
による被害はなかったか、家族やま  
ちの人に聞いて調べてみましょう。

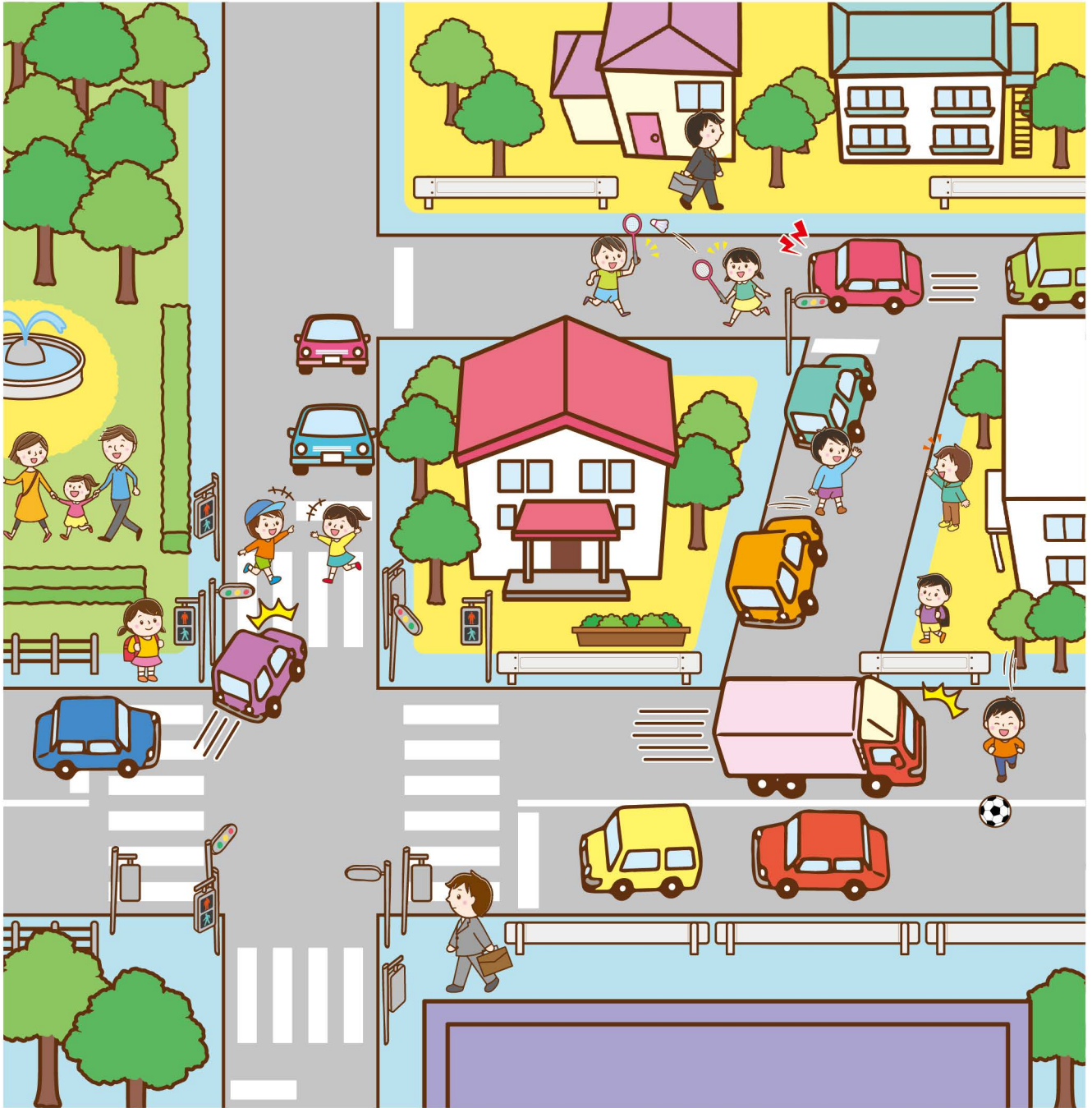


子ども向け

こうつうあんぜんへん  
交通安全編

# まちのなかで危険なことはないかな

まちの中の様子です。危険なことをしている子どもたちはいないでしょうか。  
下の絵の中で、危険だと思うところに○をつけましょう。



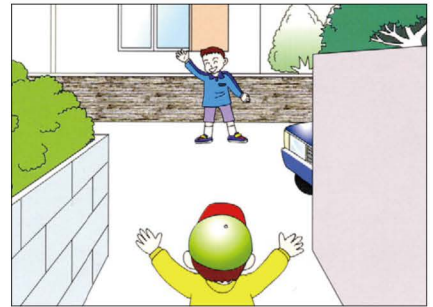
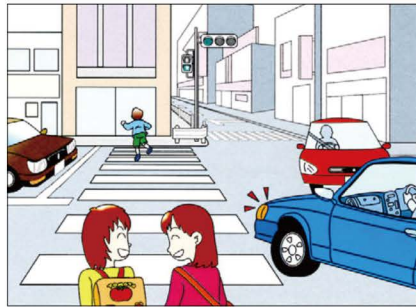
まちの中を歩いたり、自転車に乗ったりするときにはどんなことに気をつければよいか考えてみましょう。  
遊びにむちゅうになっていると、道路に飛び出したり、車に気がつかなかったり、危険なことがたくさんあります。  
安全な場所をさがして遊びましょう。



遊ぶあそに行くときや帰り道かえみちなど  
歩あるいているときに気をつけることはどんなことでしょう。

つぎ え み きけん かんが  
次の絵を見てどんな危険があるか、どうすればよいか考えてみましょう。

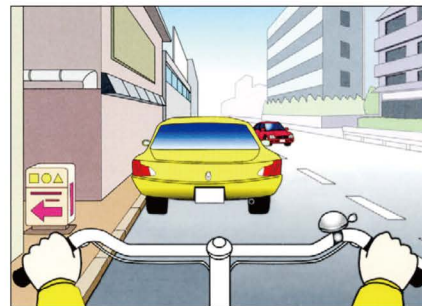
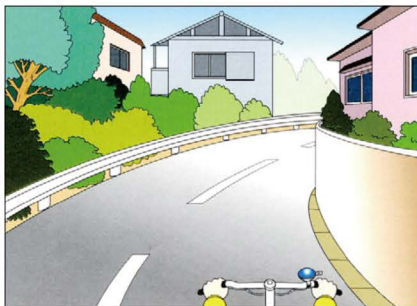
- 1 ともだち さき どうろ わた  
友達が先に道路を渡ってしましました。あわてて渡ろうとしてあります。
- 2 あおしんごう こうさてん わた  
青信号で交差点を渡ろうとしています。友達と楽しそうに話しています。
- 3 どうろ む がわ ともだち よ  
道路の向こう側で友達が呼んでいます。



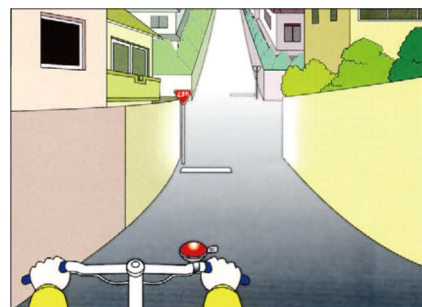
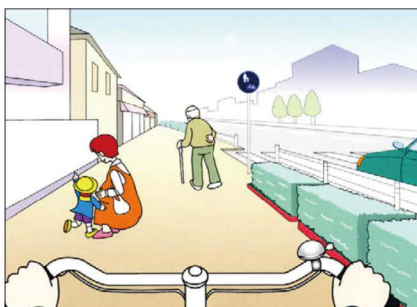
じてんしゃ の  
自転車に乗っているときに気をつけることはどんなことでしょう。

つぎ え み きけん かんが  
次の絵を見てどんな危険があるか、どうすればよいか考えてみましょう。

- 4 どうろ みぎがわ はし  
道路の右側を走っていて、カーブになっています。
- 5 まえ と くるま  
前に止まっている車があるところをよけて通りすぎようとしています。



- 6 ほどう はし かあ いっしょ  
歩道を走っていたら、お母さんと一緒に小さい子どもと、お年寄りがいました。
- 7 さかみち くだ  
坂道を下っています。前のほうには交差点があります。





おとな向け

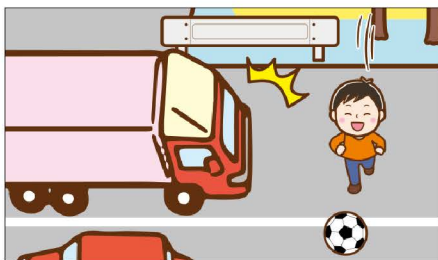
## 交通安全編

# まちの中で危険なことはいかな



あらゆる場面の危険な行動や、安全な通行方法について、場面をイメージして、危険を予測し、回避することを学びます。

### 16ページの解説



- 1 ボールを追いかけて、よく見ないで車道に出てしまいました。車が急ブレーキをかけています。



- 2 横断歩道をふざけながら渡っています。曲がってくる車をよく見ないと危ないです。



- 3 車道で遊んでいます。車道で遊んではいけません。



- 4 友達が道路の反対側で呼んでいます。車のかげから飛び出すと危険です。

### 17ページの解説

- 1 ●手前の車が停車していても、向こう側の車線を走っている車にはねられる。  
●手前の車を追い越してくる車にはねられる。  
●車が突然動き出すこともある。

近くの横断歩道を渡りましょう。

- 3 ●右から来る車にはねられる。  
●見えていない左から来る車にはねられる。

交差点では、飛び出さずに左右をよく見て渡りましょう。

- 5 ●止まっている車のドアが突然開く。  
●前から来る車にぶつかる。

前後をよく確認して、車から離れて通りましょう。

- 7 ●交差点で横切る車や人などにぶつかる。  
●坂道でスピードが出るため、急に止まれない。

- 2 ●左折する車に気づかずにぶつかってしまう。  
●向こうから来る右折車に気づかずぶつかってしまう。

友達とおしゃべりしないで、周りや信号をよく見て渡りましょう。

- 4 ●前から来る車とぶつかる。  
●前から来る人や自転車にぶつかる。

自転車は道路の左はしを走りましょう。

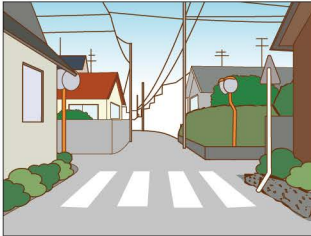
- 6 ●子どもと親が急に動いてぶつかる。  
●お年寄りが自転車に気づかずぶつかる。

ゆっくり走りいつでも止まれるようにするか、自転車から降りて通りましょう。

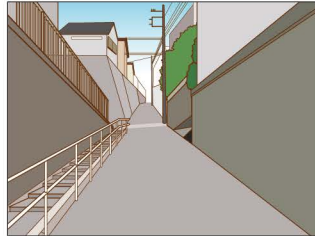
スピードを落として、交差点で止まりましょう。

まちの中で、歩いているときや自転車に乗っているときの危険な場所や、安全のための工夫について学びます。

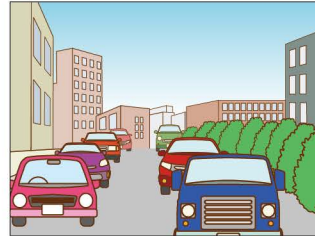
1 見通しの悪い交差点



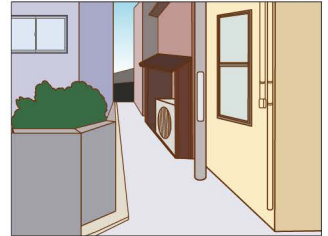
2 急な坂道



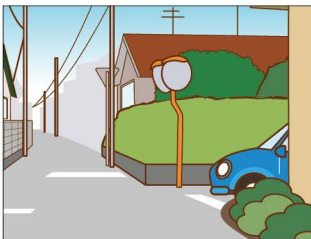
3 交通量が多い道路



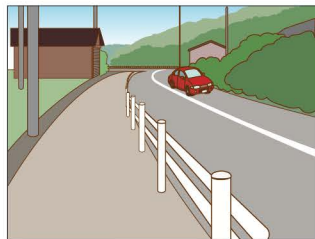
4 幅の狭い道



5 カーブミラーがある



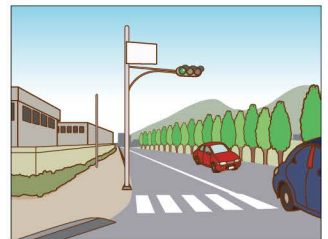
6 ガードレールがある



7 止まれの標識がある



8 横断歩道に信号がある



知っておくとよい主な道路標識



**一時停止**  
一度止まって  
左右の安全を確かめる



**通行止め**  
人、車、自転車などは  
ここを通過してはいけません



**歩行者横断禁止**  
ここでは道路を  
横断してはいけません



**横断歩道**  
横断歩道があります。  
ここを横断しなければなりません



**自転車および歩行者専用**  
自転車と歩行者だけが  
通れる道路



**歩行者専用**  
歩行者だけが通れる道路



まちの中の危険について考えてみよう



こども ばん いえ  
子ども110番の家

いざというとき逃げ込めるよ!

ティーじろ  
T字路

うさせつしゃ  
右左折車に気をつけよう!

ひと おお すく みち  
人通りの少ない道

ふしんしゃ こえ  
不審者に声をかけられるかも...

たか へい いけがき つづ みち  
高い塀や生垣が続く道

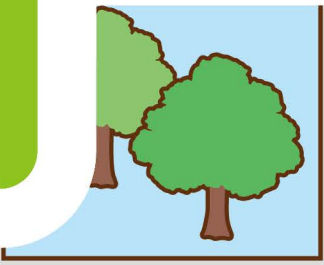
まわ りから み  
周りから見えないね!

らくが ほうち  
落書き・ゴミの放置

ひと む かんしん  
人が無関心なんだね!

あや  
空き家

ふしんしゃ  
不審者がかくれているかも...



やかん がいどう みち  
夜間に街灯のない道

ふしんしや こえ  
不審者に声をかけられるかも…

ぞうきばやし  
雑木林

まわ りから み  
周りから見えないね!



こうえん  
公園

みとお わる  
見通しが悪いと  
まわ りから み  
周りから見えないね



ちゅうしゃじょう  
駐車場

ちゅうしゃじょう  
駐車場にひとりで  
あぶ  
いると危ないね



コンビニエンスストア

いざというとき逃げ込めるよ!



# 身の周りの危険について考えてみよう

## エレベーターに乗るときはどのようにしますか。



**A**  
おく かべ た  
奥の壁に立つ。



**B**  
とびら ひら  
扉が開いたら  
すぐに出られる  
ように、扉に向  
かって立つ。



**C**  
そうさ  
操作ボタンの  
手の届く位置に  
かべ せむ 向けて  
立つ。

## 家に帰って玄関を開けるときはどのようにしますか。



**A**  
はや かえ  
早く帰りたいから  
急いで開ける。



**B**  
ふしんしゃ  
不審者がいないか  
しゅうい き くば  
周囲に気を配りながら  
あ  
開ける。

## 人通りの少ない道を通るときはどのようにしますか。



**A**  
ある な  
歩き慣れている道  
だからあんしん  
ある  
歩く。



**B**  
ふしんしゃ あと  
不審者や後をつけて  
いる人がいないか  
しゅうい き くば  
周囲に気を配る。

## 出かけて遅れそうとき「送ってあげるよ」と言われたらどうしますか。



**A**  
くるま の  
車には乗らないよ。



**B**  
しんせつ ひと  
親切な人だな。  
くるま の  
車に乗せてもらおうかな。

## 知らない人に道を聞かれたらどうしますか。



**A**  
し 知らない人の  
くるま の  
車に乗らないし  
ちか  
近づかないよ。



**B**  
こま  
困っているんだな。  
あんない  
案内してあげよう。



おとな向け

## 防犯編

～こんなときどうする?～

# 身の周りの危険について考えてみよう



様々な場面で、犯罪にあわないようにするための手立てを学びます。

### エレベーターに乗るときはどうしますか。

エレベーターは、扉が閉まると密室になり、危険な空間になります。



#### 子どもたちへの説明

- 後ろから抱きつかれたりされないように、非常ベル、インターフォン、各階のボタンの押せる位置で壁に背を向けて立つようにする。
- 奥の壁にもたれかかるように立つと、襲わ

れたときに逃げ場がなくなり、扉に向かって立つと背後から襲われることがある。

- 知らない人と二人っきりになってしまいそうなときは、乗らないようにする。

補足

集合住宅構内の駐車場・駐輪場、階段、踊り場、エレベーターホールは、不審者が待ち伏せしやすいので注意する。

### 家に帰って玄関を開けるときはどうしますか。



- ドアを開けるときは不審者がいないか、周囲を見回してからカギを開けるようにする。

- 家に誰もいないときも、帰ったときは「ただいま」と大きな声で言う習慣をつける。

### 人通りの少ない道を通るときはどうしますか。



- 人通りの少ない道は危険。ひとりで歩くときには、歩き慣れているからと安心せず、周囲に充分気を配る。
- 不審者に声をかけられやすい状況は、ひと

りでいるとき。なるべくひとりにならない。

- しつこく誘われても、はっきりと断り、防犯ブザーを鳴らすなどして、とにかく逃げることを最優先する。

### 出かけて遅れそうなとき「送ってあげるよ」と言われたらどうしますか。



- 車から声をかけられたときの基本は「いかのおすし」「知らない人についていけない」「車には乗らない」「何かあったら大

声を出す」「すぐに逃げる」「大人に知らせる」ようにする。

- 車からは、離れて立つようにする。

### 知らない人に道を聞かれたらどうしますか。



- 「助けてあげようかな」という気持ちは大切であるが、車に連れ込まれたら大変。とにかく車には乗らないこと。逃げる気持ちが必要。

- ていねいに「すみません」と言って、すぐに立ち去る。

- 大きな声で脅してくる不審者もいるので、驚かないで常に逃げる準備をしておく。



おとな向け



子ども向け

ぼうはんへん  
防犯編

かてい

はな

あ

# 家庭で話し合おう



犯罪にあわないために、家庭で話し合うことの大切さを学びます。



## 家庭内のコミュニケーションが大事

子どもの犯罪被害を防ぐために大切なのは、家庭でのコミュニケーションです。家族で防犯上の約束を話し合い、いざというときのために準備しておきましょう。家庭で話し合ったことを書いて部屋にはってみてはいかがでしょうか？

## 家庭で話し合ってみることは？

1 通学路や家の周りで危険な場所(夜間)が、街灯がない道、河川、駐車場、駐輪場などはどこか、犯罪や事故にあわないようにするために家庭で話し合ってみてください。

2 大人が留守中に玄関(ドア)のベルが鳴りました。どうすればよいでしょうか。

3 不審者から「お母さんが事故にあったよ」「お父さんがキミを呼んでるよ」と声をかけられても、知らない人についていけないように家庭で話し合っておきましょう。また、いつでも家族に連絡できるように、緊急時の連絡先も確認しておきましょう。



## 声をかけられたら、「いかのおすし」で自分を守ろう!

- 1 「ついていかない」
- 2 「車にはのらない」
- 3 「何かあったらおおごえを出す」
- 4 「すぐににげる」
- 5 「大人にしらせる」



## こんな方法があるよ!

- はっきりことわる。
- とにかくその場を離れる。
- 大声を出す。
- 防犯ブザーを鳴らす。
- 周りの助けを呼ぶ。
- 「子ども110番の家」に逃げ込む。







おとな向け



子ども向け

ぼうはんへん  
防犯編

かてい

やくそく

# 家庭の約束

1

## 通学路や家の周りの危険な場所

危険な場所

犯罪・事故防止対策


2

## 留守中に玄関(ドア)のベルが鳴ったときの対応

- 開けない。
- インターフォンなどで誰が来たか確認して判断する。
- ◆開けて対応しても
  - 家族
  - 親戚
  - 近所の人
- いい人がいれば
  - 郵便配達・宅配便
- チェック
  - その他
- その他の対応方法

\_\_\_\_\_

3

## 声をかけられたときの対応

- ◆ついていかない。
- 断り方
- 相手がしつこい場合には
- ◆声をかけられても、安心して話をするができる人がいれば書いておきましょう。
- 親戚
- 近所の人
- その他
- ◆家族の緊急時の連絡先

\_\_\_\_\_



おとな向け



子ども向け

たんけんたい  
ぼうさい探検隊でつくる

ちいき あんぜん あんしん

ちようせん  
地域安全安心マップに挑戦!

「地域安全安心マップ」は、子どもたち自身による「まち歩き」によって得られた危険な場所や安全な場所などの情報を、地図にまとめたものです。ここでは、マップづくりの方法と手順の一例を解説します。

損保協会では、子ども向けの実践的な防災・防犯教育プログラムである「ぼうさい探検隊」の普及に取り組んでいます。

「ぼうさい探検隊」とは、子どもたちが、楽しみながら、まちにある防災や防犯・交通安全の施設や設備を発見してマップにまとめる活動で、子どもたちの安全意識の向上と地域コミュニティの強化を目的としています。

防災・防犯・交通安全の視点からまちの危険な場所、安全な場所を発見し、気づいたことを地図にまとめていきましょう。



## 地域安全安心マップづくり 実践紹介

地域安全安心マップづくりの方法の一例を紹介します。実際にマップづくりを行ううえでの参考としてください。

### まち探検(フィールドワーク)準備品

当日までに  
準備して  
おくこと

- 1 実施が決定したら通学路など、マップづくりを行うエリアを設定します。
- 2 子どもの参加人数を確認し、グループ分けをしておきます(例:通学路ごと)。
- 3 1グループは10人以内を目安としましょう。
- 4 可能であれば、警察・消防署など関係先に連絡しておきましょう。
- 5 フィールドワーク、マップづくりに必要な準備品を用意します。
- 6 必要に応じて、当日のワークシートなどを作成してください。

#### まちなか探検に必要なもの

- 持ち歩き用の街区地図(A4サイズ程度)
- 画板・クリップボード
- 鉛筆・消しゴム
- 説明用資料(注意事項やスケジュールなど)
- ワークシート(必要に応じて)
- チェックポイント確認用マークシール
- デジタルカメラ

#### マップ作成に必要なもの

- まちなか探検の際に撮影した写真(なくても可)
- 鉛筆・消しゴム
- マジック・カラーサインペン
- マークシール(数種類)
- ふせん紙 ● 模造紙
- はさみ ● のり
- セロハンテープ



タブレットでも実施できます。

## 当日の流れ

★印がついたところは子ども主体で行います。

### 9:30 【ステップ1】 集合・事前学習

まずは、まちの危険について学ぼう。

まち歩き  
の注意点をよく聞いて、  
どんなところをさがせばいいか、  
マップづくりのポイントを学びます。



どんなところが危険なのか、  
事前学習を通して、考えてみよう。



### 10:00 【ステップ2】 グループ編成

★グループごとに集まって、  
班長・副班長・地図係などの役割を決めよう。



班長 班をまとめる



副班長 班長を助ける



地図係 危険なところ、安全なところ、  
子ども110番の家、インタビュー  
したところにするしをつける



写真係 写真を撮る



インタビュー係  
まちの人にインタビューした  
ことを書く



全員 ワークシートに  
気づいたことを書く

### マップづくりの注意ポイント

- ① 実際におこった事件の場所や不審者情報などにポイントをおいたマップにならないようにしましょう。
- ② 「○○警察の方の話では・・・」などとし、インタビューした相手の名前は記載しないようにしましょう。  
写真を撮らせてもらうときは了解をもらってからにしましょう。
- ③ 写真のなかに表札や車のナンバープレートが写っていたら黒くぬって見えないようにしましょう。

### 10:30 【ステップ3】 フィールドワークに出発!

ジャケットを着用すれば地域安全安心マップづくりの活動中だということがわかる目印になります。



★危険な場所を考えてみよう 危険な場所や子ども110番の家を見つけたら、白地図にシールをはっけいこう。



👍 子ども110番の家を  
発見。ここは安全。



👍 気づいたことは、  
ワークシートやタブレットに  
どんどん書き込んでいこう。



👍 写真係は  
デジカメラや  
タブレットで  
さつえい  
撮影しよう。



ちいき かの  
地域の方に  
インタビュー

👍 この辺で危険だと感じる  
ところはありますか？

★インタビューの例

まちの人にいろいろと聞いてみよう。

- ①「こんにちは。  
いま、地域安全安心マップをつくっています」
- ②「もうしわけありませんが、お話を聞かせて  
いただけませんか？」
- ③「犯罪や事故がおこるかもしれないと、不安  
になる場所がありますか？」
- ④「ご協力ありがとうございました」

11:30 フィールドワーク終了  
しゅうりょう  
ちゅうしょく きゅうけい  
 〈昼食、休憩〉



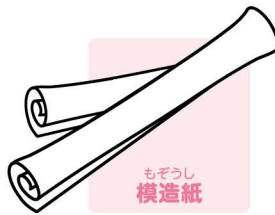
**お疲れさまでした。**  
 つぎ  
**次は、マップづくりです。**

13:30 【ステップ4】 マップづくり

マップづくり準備品 じゅんびひん



きにゆう  
**記入した  
 ワークシートと  
 インタビューシート**



もぞうし  
**模造紙**



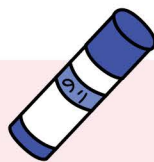
マジック  
しよく べんり  
**5〜8色あると便利**



**はさみ**



さつえい  
**撮影した  
 写真プリント**



**スティックのり**



ポストイット  
しよく べんり  
**4色あると便利**  
いろ  
 (シールと色を  
 あ  
 合わせるとよい)



**マークシール**

★作業その1: 写真とコメントの整理 さぎょう しゃしん せいり



① **歩いたルートをマーカー**  
ある  
 などちずじょう きにゆうで地図上に記入。



② **街区地図のチェックポイ**  
がいく ちず  
 ントきにゆうにシールをはります。



③ **ワークシートに記入した**  
きにゆう  
 コメントがどの場所ばしょだっ  
かくにん  
 たかを確認します。



④ **写真にコメントを記入して**  
しゃしん  
 いきます。(コメントはき気づ  
かんそう か  
 いたことかや感想を書きます)



⑤ **コメントを記入するポストイットは、**  
きにゆう  
 「危険」きけん「安全」あんぜん「インタビュー」などで、  
いろ  
 シールの色あに合わせて色分けします。



**タブレットを使用すると編集も簡単!**  
しよう へんしゅう かんたん

さぎょう もぞうし  
★作業その2: 模造紙でマップをつくる

しゃしん よぶん  
写真の余分なところはとって  
好きな形にカットしよう。



6 模造紙にタイトルとチーム名を記入し、街区地図をはったら、コメントをつけた写真をおおまかにならべてみよう。

さぎょう たの  
マップづくり作業はみんなで、楽しく!



7 ならべた写真とコメントをのりで模造紙に固定。

おおよそできあがったら、  
全体を見てみよう。



1班の小学校安全マップ(防犯) メモ

ほんの地図  
国土地院発行の街区地図を基に作成し

ぜん体の地図  
この班の活動地域を基に作成し

地図のじょうほう  
 ● あんぜんポイント ● きけんポイント  
 ● インタビューポイント ● 役立つ場しよ

ポイント1 きけん 公園、お祭り場、児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。	ポイント2 きけん 児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。	ポイント3 きけん 児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。	ポイント4 インタビュー 児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。
ポイント5 きけん 公園、お祭り場、児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。	ポイント6 きけん 公園、お祭り場、児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。	ポイント7 きけん 公園、お祭り場、児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。	ポイント8 きけん 公園、お祭り場、児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。
ポイント9 あんぜん 公園、お祭り場、児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。	ポイント11 あんぜん 公園、お祭り場、児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。	ポイント13 インタビュー 児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。	ポイント14 インタビュー 児童館、児童遊園地など、人が多く集まる場所。人目が少ない。

タブレットで作成したマップのイメージ

マップにタイトルをつけ、チーム名を書きます。

気づきや感想を書きます。

**南海トラフ地震の逃げ道マップ**  
北川ブラザーズ

通学路での地震時に大七かだと思つこと  
ランドセルで頭を守る。  
周りをよく見て危険だと思つたら遠ざかる。  
低学年がいたら一緒に逃げる。  
111-緊急を伝える。

簡単に分かつた事  
南海トラフ地震は、南海トラフ沿いの地域に大きな被害をもたらす可能性がある。南海トラフ地震は、南海トラフ沿いの地域に大きな被害をもたらす可能性がある。南海トラフ地震は、南海トラフ沿いの地域に大きな被害をもたらす可能性がある。

避難所  
一時避難所  
危険場所  
例  
情景やて欲しい事

年代	地震名	マグニチュード	被害	被害の所の海拔
1	1923年 関東大震災	7.9	浜田川河口の建物倒壊	0.5m
2	1499年 明成地震	6.2	浜田川河口の3世北条時高が倒壊	0.5m
3	1109年 宝永地震	6.6	旧江川橋が津波で崩壊	2.0m
4	1874年 近畿南海地震	7.4	阪急線が津波で崩壊(現在も崩壊している)	2.0m
5	1944年 南海トラフ地震	9.0	田原川が崩壊	2.0m

近隣の避難所  
① アスト 379人  
② 聖光大学 あり  
③ 保育室 なし  
④ 文化センター 1700人

定員  
920人  
1350人  
90人  
1700人

避難ルート

調査した結果をまとめます。

地域の方々にインタビューしてわかったことを書きます。

撮ってきた写真をはり、気づいたことを書きます。

色分けした凡例は地図を見やすくします。

調査の結果や感想などを発表しよう。



**子どもたちの感想**  
・街灯がない、人が少ないなど、危険なところがありました。  
・ゴミや落書きが多いところも気をつけなければいけないと思いました。

**保護者の感想**  
・いつも何気なく歩く道もこうやってまち歩きすることにより、危険なところを意識するようになるからとてもよい経験だと思いました。

- 【注意事項】**
- ・マップづくりのルートは、できるだけ通学路やよく遊ぶ場所に設定しましょう。
  - ・子ども主体で進めますが、各グループには必ず保護者やボランティアの方など大人が1名以上つきそい、必要に応じてサポートしましょう。
  - ・グループごとにまとまって行動し、交通事故に注意し、安全には万全を期すようにしましょう。
  - ・万が一の事故やケガに備えて、傷害保険などに加入しておきましょう。

あいおいニッセイ同和損保

アイペット損保

アクサダイレクト

アニコム損保

イーデザイン損保

AIG損保

エイチ・エス損保

SBI損保

au損保

キャピタル損保

共栄火災

さくら損保

ジェイアイ

セコム損保

セゾン自動車火災

全管協れいわ損保

ソニー損保

損保ジャパン

大同火災

東京海上日動

トーア再保険

日新火災

日本地震

ペット&ファミリー損保

三井住友海上

三井ダイレクト損保

明治安田損保

楽天損保

レスキュー損保

会員会社(50音順)

2023年3月現在

監修:矢崎 良明(学校安全教育研究所 事務局長)

一般社団法人

日本損害保険協会

業務企画部啓発・教育・防災グループ

〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9

TEL 03-3255-1215

URL <https://www.sonpo.or.jp>



古紙再生紙を使用しています。印刷には大豆油インクを使用しています。

本書で使用されている写真・イラストの出版物・インターネット等への無断転載を禁じます。  
2023.03